

## 東濃支部学術研修会 講演抄録 (2022年3月13日)

①演 題 「オールセラミッククラウンをインプラント上部構造体に応用する」

講 師 今井 圭太 岐阜県歯科技工士会東濃支部所属  
医療法人白水会 白川病院歯科技術科勤務

かつてインプラント上部構造体の多くをハイブリッド前装冠で作製してきた。しかし臼歯部では時に割れる、欠けるなどのトラブルや光沢が早期に失われるなどの理由で当科診療室から数年前から導入したオールセラミッククラウンを応用できないか打診された。インプラント上部構造体はメンテナンスのため定期的に撤去するがセメント合着したセラミックやジルコニアは撤去時の衝撃に耐えることが出来ない。それでアバットメントごとスクリューで固定するスクリュー固定式が一般的であるが、アクセスホールが審美性に影響することと口腔内での操作のしやすさからセメント固定式でやれないかと打診された。そこで前装冠で作るときのように撤去用ピンホールを付与した金属製内冠を介在させることで対応し満足のいく結果を得たので報告する。

②演 題 「口腔内装置等についての考察」

講 師 小関 善士 岐阜県歯科技工士会東濃支部所属  
おぜき歯科補綴勤務

各種口腔内装置の使用材料、製法について整理し、それぞれの製作方法について具体的に紹介する。簡便で応用範囲が広いので、利用方法について参加者とディスカッションもしたいと思います。